

オディリア通信

あいあい

春号(No93.)

R6.年 5月 15日

社会福祉法人 聖オディリアホーム乳児院
〒165-0031 東京都中野区上鷲宮 5-28-28
TEL (03)5971-8071 FAX (03)5971-8073

Eメール odilia@guitar.ocn.ne.jp

ホームページ <http://odilia.jp>

基本理念 「愛をもって、愛を育てる」

風が少し冷たい日もありますが、体調管理に気を付けながら散歩や外遊びに出かける日も多くなってきました。

2歳の女兒は院庭でたんぼの綿毛をたくさん見つけました。大きく吹いて綿毛を飛ばしたり、同じユニットのお友達に「あったよ、これ。」と渡してあげていました。近隣を散歩した時は、咲いているペシクの花を見て「かわいいね。」と話したり、足元にいるアリに気が付き保育者に知らせてくれました。

このように、子どもたちは草花や生き物と触れ合いながらたくさんのことを吸収し、成長していきます。

令和6年度は、4名の新職員を迎えています。また、2名の職員が非常勤から常勤になりました。子育て中の職員も増えてきました。家族を介護しながら働く職員もいます。一人ひとり色々なことがあると思いますが、経験するすべてのこと、歳を重ねること、長く働くことが子どもたちの養育にプラスになると考えています。今年度も周りの方々の力もお借りしながらよりよい施設運営をおこなっていきけるよう努力していきます。

(施設長 鎌倉 道子)

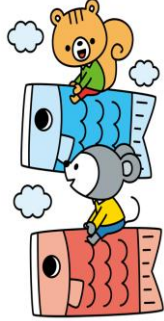
	月	月	月
身長	cm	cm	cm
体重	g	g	g



◎ 調理室から ◎

端午の節句

端午の節句は、なにを食べる・・・？



柏餅

上新粉を使ったあん餅を大きなかしわの葉で包んだ柏餅。かしわの香りが美味しさを増してくれます。

かしわは新芽が育つまで古い葉が落ちてこないことから、子孫繁栄につながると思われる縁起のいい植物です。

ちまき

甘味をつけた餅をささの葉に包み蒸しあげたお菓子です。もとはチガヤという直物の葉で巻いていたため「ちまき」と呼ばれるようになったとのこと。

お餅にはあんが入らないものも多いです。歯ごたえのある上新粉で作るものもあれば、葛を使ったやわらかいものもあります。



タケノコ

端午の節句はちょうどタケノコが旬の季節です。土佐煮やタケノコご飯など美味しい食べ方が沢山あります。春巻きに入れても歯ごたえが加わって美味しいですね。

端午の節句にタケノコを食べるのは、竹にあやかりやすく育て欲しいという願いが込められています。

イースター



オディリアホームでは様々な行事食を作ります。春の行事食にはイースターがあります。イースターはキリストの復活を祝うお祭りです。春分の日から数えて、

最初の満月の次の日曜日に行われています。子供たちは当日に行事食のバイキングやエッグハントをして楽しみます。

(調理師 五十嵐)



☆絵本の紹介☆

ねないこだれだ

「とけいになります ポーンポーン」夜中は お化けの時間です。遅くまで起きている子どもはお化けの世界に連れていかれてしまふ...という一見怖そつな話ではありませんが、主役のお化けを身近に感じられる、子どもたちが大好きな絵本です。何度もページをめくりながら絵やフレーズを繰り返して楽しんでいます。



きんぎょがにげた

カラフルな表紙が目を引く、絵きんぎょ探しに楽しい絵本です。金魚鉢から逃げた一匹の金魚を追いかけて、カーテンの絵柄やキャンディーの瓶の中に隠れている金魚を子どもたちと一緒に探して楽しみます。「金魚はどこかな?」と声を掛ける「ここ!」と絵を指さして教えてくれます。

(保育士 宇田)

だるまさんが

赤ちゃんから楽しめる、リズムと繰り返しが多い絵本です。真ん丸のだるまさんが伸びたり縮んだり、時にはおならをしたり…だるまさんの表情や形が変化する様子が子どもたちに人気で、思い思いに真似っこをしながら楽しんでいきます。



はらぺこあおむし

小さなあおむしが綺麗な蝶々になるまでを描いた、大人気の一冊です。「りんごをひとつ」「なしをひとつ」と

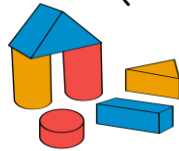


数字が出てくるので、楽しみながら数字に触れるきっかけづくりにもなります。「○○ちゃんの好きなアイスクリームはどこかな?」と、子どもとやり取りしながら探してみるのも楽しいです。物語をそのまま歌にした曲もあるので、一緒に歌いながらリズムカルに読み聞かせするのもおすすめです。

(保育士 網屋)

新職員紹介

これまで非常勤で勤務していましたが、4月から常勤として働くことになりました。子どもたちの発達や心理面を、より一層丁寧に見守っていきたいと思っています。よろしくお願いたします。



(心理士 戸田)

さとおやこほっとステーション「あいりす」に入職しました。さとおや制度について多くの方に知っていただき、里親を希望される方が安心して養育できるように支援していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

(相談支援員 瀧澤)



安全・安心できる環境を大切に、子どもたちが楽しく笑顔で過ごせるように丁寧に関わってまいります。よろしくお願いたします。

(シヨートステイ担当保育士 木村)

子どもたちが毎日安心して笑顔で過ごせるような環境づくりに努めます。まだまだ未熟ですが、他職員の関わりなどから学び、日々成長ができるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いたします。

(クララ室保育士 田中)

保育士になろうと思ったきっかけは、中学生の頃にした保育園のボランティアで、子どもと関わるのが楽しいと思い、保育士を目指しました。子どもとあれこれ話しながら絵を描くのが好きです。よろしくお願いたします。

(クララ室保育士 岩出)

言葉や行動でたくさん愛を伝え、子どもの気持ちに寄り添い安心して生活できるよう努めます。よろしくお願いたします。

(ローザ室保育士 渡辺)



《 ひなまつり 》

三月三日は桃の節句。オディリアホームの女の子たちは皆で着物を着てお祝い行事を楽しみます。高月齢の女兒は「ピンクのがいい!」「赤にする!」等自分で好みの着物を選んで笑顔を見せます。低月齢の女兒も保育者に「どっちにする?」と聞かれると何となく指を差して気になる着物を伝えてくれます。着物姿に着替えている女兒たちを男児が気になって見ている姿も可愛らしいです。

雛飾りの前で頬に指を当てたり、おすまじしたりとそれぞれのポーズで写真を撮ります。皆とても上手にポーズをとるので、保育者達はその度に歓声や笑い声をあげ和やかに祝福の気持ち溢れる時間を共に過ごすことができました。



おひなさまを題材にした制作も皆で楽しみました。足型をお内裏様とお雛様に見立てて菱餅を模った台紙に飾ります。

子どもたちそれぞれそのの大小の足型が可愛く並びます。出来上がった作品を部屋に飾ると、高月齢の子どもたちは「○○ちゃんの足!」と指さしながら笑顔を見せます。子どもたちの健やかな成長を願う穏やかで楽しい一日となりました。

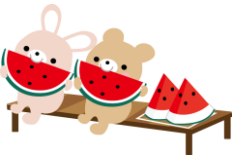
(看護師)

佐藤)

今後の行事

7月 七夕

8月 すいかわり



お知らせ

聖オディリアホーム乳児院のホームページがあります。合わせてご覧下さい。

<http://odilia.jp>

☆編集 後記☆

例年より遅く咲いた桜も散り、温かい気温が安定して来たこの頃。いよいよ春本番です。子どもたちは院庭に出て虫を見ついたりタンポポの綿毛を吹いたりと春ならではの遊びを楽しみます。日中は汗ばむ陽気。水分補給を適度に行いながら、保育者も子どもたちも一緒に元気に外遊びを満喫しています。

(看護師 佐藤)